

## 府大教ニュース

・ 2018年度定期大会報告

2018. 9. 3

発行

No. 755

## 府大教情宣部発行

堺市中区学園町1-1

大阪府立大学内

TEL/FAX 072(257)8992 (直通)

072(252)1161 (内線2751)

e-mail: fudaikyoku@leto.eonet.ne.jp

http:// www.fudaikyo.org

# 2018年度府大教定期大会 活動方針など6議案を可決

8月24日(金)、B3棟(教育棟)117教室において、2018年度府大教定期大会が開催されました。大会は小嶋副委員長の開会宣言に続き、りんくうキャンパスからの中継による大会参加の承認の後、議長に原田代議員を選出しました。引き続き、大会役員の選出と承認、大会書記(議事録署名委員)の任命が行われました。

はじめに、上田前年度書記長より2017年度活動報告(第1号議案)が行われました。勤務労働条件改善の取り組みとして、2017年度給与等改定要求書に対する法人回答を受け、給料表の改定については初任給を2,000円引き上げるなど若年層に限定した改定となったこと、期末・勤勉手当は4月に遡及し0.1月分引き上げること、また、給与の2%減額を回復すること及び地域手当の引き上げと再雇用職員の給与及び64、65歳の教員の特別給の増額については継続協議とし、非常勤職員の給与月額及び時間単価の引き上げが実施されたことが報告されました。また、扶養手当の見直しの経過措置、持ち家に係る住居手当の廃止の緩和措置、退職手当の切り下げの平成30年4月1日実施と代償処置等を獲得したことが報告されました。また、代休の取得等の手続きを適正に行うこと、教員の任期規程の改定について不利益が生じないようにすること、裁量労働制については業務負担軽減の具体策を求め、見なし労働時間の見直しを強く求めたこと等が報告されました。市大との統合については31年4月に法人統合することは決まっているが、現状では中身がわからないとの説明があり、教員業績評価については就業規則の届け出義務違反と報奨金の給与規程違反について顧問弁護士を通じ労働基準監督署に申告し、現在、法人に是正勧告が出され法人が対応しなければならない状況であることが報告されました。

第2号議案として岸田前年度副委員長より「2017年度一般会計、特別会計」の決算報告、西村会計監査委員から会計監査報告が行われ、金田前年度書記次長より第3号議案(労働協約締結・改定の承認に関する件)が提案されました。質疑に続いて採決が行われ、第1号議案、第2号議案は可決(反対0、保留0、賛成多数)されました。また、第3号議案が拍手で承認されました。



## 2018年度定期大会役員

大会議長	議事運営委員会	資格審査委員会
原田代議員	委員長 楠川代議員	委員長 谷森代議員
書記(議事録署名委員)	委員 甲斐、西村執行委員	委員 竹内代議員、宮脇、井藤執行委員
大前代議員	委員 森山代議員(りんくう)	委員 三重代議員(りんくう)

2018年度川田委員長による新執行部体制の紹介に続いて、上田書記長から第4号議案(2018年度活動方針案)、第5号議案(組合費改定に関する件)、岸田副委員長から第6号議案(2018年度予算案)が提案されました。

2018年度活動方針は、教職員の労働条件の改善について、給与については法人統合における一切の不利益変更は認めないこと、これまでに締結した労働協約は新法人と新たに締結すること、現行の規程等の不備については31年3月末までに整備することを求め、新就業規則の届出に向け協議すること、新法人の就業規則については市大の勤務労働条件との均衡をはかり、地域手当を含む給与水準の格差の是正を強く求めていくことなどが提案されました。また、教員の増員と業務の軽減、職員の65歳定年、再雇用制度について、非常勤職員の無期雇用への転換、5年の雇止め問題等について取り組んでいくことなどが述べられました。その後、第4号議案、第5号議案、第6号議案の採決が行われ、可決(反対0、保留1、賛成多数)されました。

最後に、中村副委員長から「大会決議案」の提案が行われ大きな拍手で承認され、閉会宣言とともに大会は終了しました。

## 大会決議

大阪府立大学と大阪市立大学の法人統合が決まり、2019年4月から新大学法人がスタートします。大阪府立大学とそこに働く私たち教職員にとって重大な変革の局面を迎えています。しかし、残り半年近くの現在でも新大学法人の設立の準備はほとんど進捗しておらず、組合と責任をもって話し合える窓口さえできていない状況です。学内議論も無いままに拙速な法人統合を看過し、このような憫然たる状況を招いている理事長に強く抗議します。府大教は今後の大学統合に向けて、拙速な統合に反対し、全大学人による真摯な議論を重ねていくことを強く要求します。

安倍政権は次の国会で憲法改悪を行うことを公言しています。国力の増強と経済成長が殊更に強調され、大学に対する軍事関連研究推進の押しつけ、国立大学への統合の強要など教育研究に不当に介入し、大学人が大切に守ってきた「個人の尊重」と「学問の自由」を蹂躪し、大学の多様性と民主的な発展を阻害する現政権の政策に反対します。

府大教は、自主自律の精神にあふれる府立大学の伝統を重んじ、将来を切り拓くために、統合という大きな変革の中で、すべての教職員の叡智を結集した民主的な真の大学改革を目指して運動を進めていきます。

府大教は、労働運動の長い歴史の中で労働者自らが勝ち得た団結する権利を尊び、すべての教職員の団結の下、教育研究環境と勤務労働条件の改善に向けて力強く前進していくことを決議します。

「大阪府立大学の民主的な将来を切り拓き、働く条件を改善するために組合加入を！」をスローガンに、共に頑張りましょう。

2018年8月24日

大阪府大学教職員組合2018年度定期大会